

# 【特別書面インタビュー】大槌ゆかりの方に伺う 『今後の10年へ向けてコロナ禍を乗り越えるために』



公益財団法人  
埼玉県産業文化センター

しまだ くにひろ

島田 邦弘 専務理事

## 心に明かりを灯してくれる エンターテインメント等の存在は大きい

<島田邦弘専務理事 略歴>

埼玉県職員、埼玉県出身、埼玉大学経済学部卒と根っからの埼玉県人。昭和60年に埼玉県入庁後、神川町副町長、県観光課長などを経て、令和3年から現職に着任。業務を通じてアニメ聖地巡礼の先駆的作品「らき☆すた」と出会ったことを契機に、現在では公私を問わず県内各地のアニメのまちおこし活動にアドバイザーやスタッフとして関わっている。(一社)大槌町観光交流協会コンテンツビジネス戦略事業部会特命顧問。

**国内で新型コロナウイルスの感染が広がりはじめて2年が過ぎますが、令和3年度はどんな日々でしたか？**

私の職場である「ソニックシティ」はJR大宮駅の直近に位置しており、2500席の大ホールをはじめ約30室の会議室などを備える大規模コンベンション施設です。コロナ禍以前は施設全体が予約で埋まり、クラシックから古典芸能、アニメまで多種多様なイベントや会議等が日々行われていました。しかし、御承知のとおり、首都圏を中心に発出された緊急事態宣言などの影響を受け、残念ながらキャンセルや事業の規模縮小が相次ぎました。

ウイズコロナ2年目となった今年度は、今だからこそ有効なオンライン配信の採用などが密にならない施設利用方法をお客様に提案させていただきました。併せて、これまで当施設をご利用されていない企業・団体に対し、動画やメールも活用しながら積極的に営業活動を展開しました。端的に申し上げて、今年度は「今できることは何か？」を考えたきた日々でした。

**こうしたときに大事にしていること、大事だと思っ**

私が所属する財団はソニックシティの運営・施設貸出のほか、良質な音楽を身近に楽しんでもいただくため、日本フィルハーモニー交響楽団とタッグを組み、定期演奏会を130回にわたり開催してきました。

また、財団が事務局を務める「アニメ祭」は全国のアニメファンから注目される恒例イベントに育ちました。今年は何と10回目となる節目の年です。

コロナ禍は様々な産業に深刻なダメージを与え、日々の暮らしに潤いをもたらす文化・芸術活動にまで大きな制約を生じさせました。だからこそ、私たちが創意工夫を凝らし、一人でも多くの方に「ソニックシティへ行ったら良かった！」と喜んでいただき、家族や知人と歓談していただける企画を生み出したいと思っています。

**コロナ禍でのエンターテインメント、観光、文化芸術のあり方とは？**

コロナ禍により行動の制約を受けがちな状況にあるからこそ、例え、つかの間であったとしても心に明かりを灯してくれるエンターテインメント等の存在は大きいと考えます。先ほどご紹介したアニメ祭には、コロナ前には1日で3万人の方にご来場いただいたておりました。

しかし、この規模のイベントを開催することは現状ではハードルが高く、令和2年度からWEBやニコニコ生放送等の媒体を使ったオンライン開催に切り替えました。直接お客様の顔を見て反応が確認できないのが寂しいですが、「遠方のため逆にお声かけいただきました。ある意味で新しいファン層を開拓することにつながったという面もあったと思います。今後は、コロナの状況をしっかりと見極めながら、リアルとバーチャルの手法を上手く組み合わせる事業に取り組んでいきたいです。

**大槌町との思い出や関係のきっかけを教えてください。**

たしか、アニメ祭の際に、大槌町の職員の方(安藤さん)にお越しいただいたのがきっかけと認識しております。その際にエンターテインメントの力で町の復興を図りたいと熱く語られたのが印象深いです。その後、バラエティショーの軽井沢公演にお邪魔し、「大槌の人ってみんな芸達者！一妻と一緒に合意させてください。それで降もずとお付き合いです。エンターテインメントは娯楽だけではなく「絆」だと再認識しております。

**大槌町ではふるさと納税や、通信販売サイト「大槌孫八郎商店」で、町特産品のPRに務めています。大槌の特産品と云えば？**

内陸育ちの埼玉県民にとって海の幸は最大の弱点であり(笑)、これを目当てに数年来ふるさと納税をさせていただいております。特にホタテやカニの鮮度が素晴らしく、お供にする地酒をあらかじめ用意して毎年届くのを楽しみにしております。ちなみに、私が埼玉県職員ということをお聞きし、地酒は埼玉産であることを御容赦ください。もちろん、バラエティショーに登場した鮭も最高の取り合わせですよ！

**今後、大槌町で、あるいは大槌町民と一緒に挑戦してみたいことは？**

先日、Zoomを使ったコンテンツビジネス戦略事業部のセミナーで、大槌町有志の皆様とお話することができました。短い時間ではありましたが、コンテンツを上手に活用して心の復興に取り組む熱心な姿勢を感じ取りました。ぜひ、条件が整いましたら、アニメ祭などの場を使い、大槌町とのコラボができればと考えます。

これをきっかけとして大槌町と本県にあるアニメの舞台地等の注目度がより一層高まる嬉しきです。また、大槌町には美味しいものもたくさんありますので、食での連携も良いかもかもしれませんね。

**本年の活動予定を教えてください。**

いよいよ10回目となるアニメ祭については、既に担当レベルでアイデア出しを発売に行っています。特に今年は、本県が舞台となった新たなアニメ作品の情報も出てきており、どのようなコラボができるかどうか考えるだけで楽しみです。また、ソニックシティと舞台地を有する県内各地域との連携をこれまで以上に深めた展開ができればと考えております。

現在、ソニックシティではホール棟の大規模改修を行っており、来年2月からは、リニューアルした空間で最上級のコンサート等をお楽しみいただけます。特に、クラシック好きの皆様はぜひ一度お越しください。

**大槌町民へメッセージをお願いします。**

私がこれまで出会った大槌町の皆様は、誰もが笑顔が素敵で話をしていただけで元気をいただける方でした。決して忘れられない震災の記憶に負けないよう、強く元気に前を向こうとする姿勢に頭が下がります。かつて私は大槌町とはゆかりのない他県のいち県職員でしたが、アニメというコンテンツを通して思いもよらない交流が始まりました。昨年夏、映画「岬のマヨイガ」を劇場で見ながら、大槌町での取組が大きく花開くことを自分事のように祈っておりました。引き続き、埼玉県在住の大槌町ファンとしていつまでも応援させていただきますね。